

「褥創治療の常識非常識」要点： 開放性ウェットドレッシング

鳥谷部俊一著 三輪書店 2005

西伊豆早朝カンファランス2006.7 仲田

．背景理論

傷は湿潤環境で最も治癒が早い（キズはガーゼで乾かして治してはいけない）。消毒は皮膚表面の細菌を殺すが創面のヒトの細胞も殺す。従って、傷を消毒すると治癒は大幅に遅れる。従って消毒せず閉鎖して湿潤環境を保つと傷は早くなおる。外傷はハイドロコロイド製剤（コムフィール、テガダムなど）でよく治るが褥創のような感染創は完全閉鎖では却って悪化する。サランラップを当て（完全閉鎖せず）その上からオムツ（厚すぎないこと）を当てることにより、褥創を湿潤環境に保て、かつ滲出液を吸収できる。

．カテーテル、胃ろうチューブ刺入部も消毒してはならない。

皮膚を人工物が貫通している部位は決して創治癒しないので湿潤環境にする必要がない。かさぶた（細胞＋液体からなるフィブリン層）ができればそのまま良い。消毒すると、ここの細胞が死んで感染経路を作ることになる。消毒せず水洗いして乾燥させれば良い。

．褥創の処置

1．踵などの水泡の出来た褥創の処置



踵などに水泡ができている場合、オプサイト（点滴固定用の）を貼り、その上から 18G 針で水を抜く。さらにその上からオプサイトを重ね貼りする。ナイロンストッキングなどを履かせると剥がれなくてよい。水がたまったら同じことを繰り返す。1週ほどで水泡の下に表皮ができる。

2．浸出液が少ない時 水道水で洗いラップして周囲をテープで留める。



紙オムツを下に敷いて水道水を入れた霧吹きで圧力をかけずに創を洗う。10ml から 100ml 位で良い。便が付いている時はたっぷりの水道水で洗う。創に水圧をかけたりブラシでこするとフィブリン層（肉芽の上にテラテラとゼリー状に見える）とその下の薄い表皮細胞を破壊してしまうので不可。創内の水分は拭き取る必要はない。

周辺の皮膚のみティッシュペーパーでふき取る。消毒液は用いてはならない。

15cm 幅のラップを適当に切って創に大きめに貼る。周囲を絆創膏で貼る。

3 . 浸出液が多い時 開放性ウエットドレッシング (open wet dressing: OWT)



褥創を洗浄したあと、オムツ内の創が当たる所に巾5 cm の市販の事務用テープあるいはオプサイト(点滴の固定に使うフィルム)を貼り(創に貼るのではなくオムツに貼りツルツルした面を褥創に向ける)そのまま褥創に当てておしまい。テープは清潔である必要はない。



または台所の排水口用水切り袋(フィルムに穴がたくさん開いてる)の中に小さく切った紙オムツ(中身が出ないように周囲はテープで留める)を当ててその上からオムツをしてもよい。
感染創はラップの周囲を閉鎖してしまうと感染がひどくなるので閉鎖しない。

感染創はコムフィールのようなもので閉鎖するのは良くない。また周囲に糊で付着すると摩擦で褥創を起こす。

褥創はどうせ感染創なので、事務用テープ、水切り用袋ともに消毒の必要はない。

くるぶしや踵の褥創は、尿取りパッドや母乳パッドの内側に5 cm事務用テープをはりツルツルした面を褥創に当ててくるんでテープで留めるかナイロンストッキングを履かせれば良い。

褥創の大きな原因は濡れたオムツである。オムツが濡れていると臀部に付着し、体の向きを変えると摩擦で「ずり応力」が働いて皮下の血管を損傷し褥創を起こす。コムフィールのような糊の付いているものも同じように褥創や皮膚損傷の原因となる。

ツルツルしたフィルムがあることによりこの「ずり応力」がなくなり褥創を防ぎかつ創を湿潤環境に置くことができる。フィルムからはみ出た浸出液はオムツで吸い取れば良い。

感染創は周囲をテープで閉じてはならない！

またオムツを 2 枚も 3 枚も当てたり、オムツと尿取りパッドを重ねて褥創にあてたりすると褥創に圧がかかり悪化するので注意。オムツを厚くするな。エアマットを使えば 2 時間ごとの体位変換は不要である。

4 . 褥創から大量の膿汁が出る時。

この場合は、ラップを使わず紙オムツのみとする。大量の膿汁により創は湿潤に保たれる。吸収力にかけては紙オムツに勝るドレッシングはない。浸出液が減少してきたらラップまたは水切り袋とオムツに変更。

5 . 褥創が黒いかさぶたで覆われ乾燥している時。



乾燥した褥創にラップを当てても改善しない。ワセリンか軟膏をかさぶたに塗った上でラップを当てると左図のように湿潤してくるので、この時点（数日）でかさぶたを切って（デブリドマン）開放する。



デブリドマンは出血しないように最小限でよい。ラップ療法を継続すれば壊死組織は融解していき良好な肉芽が出来てくる。エアマットを使うかぎり 2 時間ごとの体位交換は必要ない。



肉芽形成の始まり。ラップ療法を続けると壊死組織は解けていき筋膜の上に肉芽が形成されていく。



褥創の周囲の土手が平坦になると周囲から表皮形成が始まる。

● 新しい皮膚の黒い点々は、毛嚢などから表皮形成が始まったことを意味する。



筋膜はすっかり肉芽で覆われ、褥創の周囲の土手は平坦になり周囲からの表皮形成が進んでいる。

・褥創治療セット



創処置セットは個人専用とする。全部で 600 円位。

- はさみ
- ティッシュペーパーまたはガーゼ
- 15cm 巾の食品用ラップ
- 穴あきポリエチレン袋（台所の排水口用）
- オブサイトフレキシフィックス（滅菌でなくて可）
- 霧吹き（200ml）
- 紙おむつ
- プラスチック手袋
- プラスチックテープ
- プラスチックかご
- ナイロンストッキング（使い古しのナイロンストッキングを病院へ持って来てください）

ナイロンストッキングは、オムツをテープで留めるかわりに使用し膝の屈曲拘縮がある時は、膝にはかせるとツルツルして摩擦がなくなって良い（また蒸れない）

・まとめ

褥創は消毒せず湿潤環境にすると速く治る。

浸出液が少ない時は水道水で洗ってラップを当て周囲をテープ留め。

浸出液が多い時は洗浄後、オムツ内にビニールテープかオプサイトを貼ったものを当てる。

浸出液が多い時は排水口用水切り袋の中にオムツを入れたものを当てその上からオムツをしても良い。

大量の膿汁が出る時は直接オムツを当てても良い。

褥創が黒いかさぶたで覆われている時は、ワセリンか軟膏を塗りラップをして軟化するのを待ちかさぶたを最小限切除しラップ継続。

濡れたオムツやコムフィールなどは皮膚との摩擦で褥創の原因になる。

オムツを厚くすると褥創に圧がかかり褥創は悪化する。